

For Immediate Release

C&W、茨城県猿島郡境町で「LF 境古河」を竣工

グローバル不動産総合サービス会社のクッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（グローバル本社：米国伊利ノイ州シカゴ、日本本社：千代田区永田町、C&W）は、グループ傘下のクッシュマン・アンド・ウェイクフィールド・アセットマネジメント株式会社（本社：千代田区永田町、CWAM）が境古河ファシリティ特定目的会社を通じて、茨城県猿島郡境町で物流施設「LF 境古河」を竣工し、2025 年 1 月 20 日に竣工式を執り行い、また同日に茨城県猿島郡境町（橋本正裕 町長）との間で「災害時等における緊急避難場所の施設使用に関する協定」（以下、本協定）を締結したと発表しました。式典には、設計・施工を担当した JFE シビル株式会社代表取締役社長の門田純氏ほか関係者ご一同、および CWAM 代表取締役の田中義幸らが参列し、施設の完成と本協定の締結を祝いました。



立地特性

「LF 境古河」は、首都圏中央連絡自動車道（以下、圏央道）「境古河」インターチェンジから約 2.3 km、下小橋工業団地内に位置しています。現在、圏央道は「久喜白岡」JCT 以東の 4 車線化工事が順次進められており、慢性的に渋滞の多かった久喜白岡 JCT～幸手 IC 間は工事完了により既に内回り・外回りともに渋滞が緩和されています。また、国道 354 号境岩井バイパス、新 4 号国道に接続する

古河境バイパスの開通が予定されていることから、これらの交通利便性の向上を契機として境古河エリアは今後関東及び東日本の広域配送拠点として物流拠点の集積が進むことが期待されます。

施設の特徴

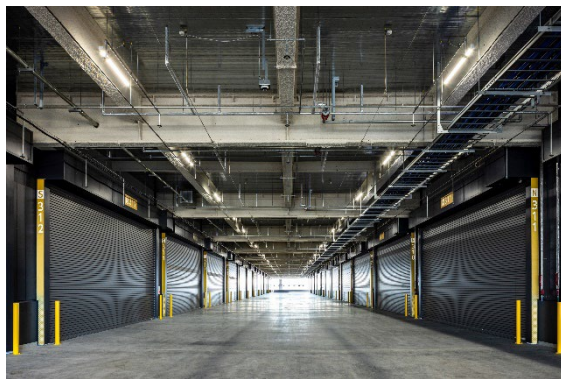
「LF 境古河」は、地上 4 階建て・延床面積約 113,000 m²の、大型ランプウェイを備えたマルチテナント型物流施設です。バースには 45 フィートコンテナ車を含む大型車両が各階へ直接接車できます。テナント区画は 1 フloor最大約 2.4 万平方メートル、フロア分割により施設全体で最大 16 テナントが入居可能です。駐車場約 460 台を確保し、倉庫空調の全館設置に対応する電気容量を備えるなど、テナントの様々なニーズに柔軟に対応します。建物共用部にはカフェテリア・売店などを設置し、また倉庫内には大型シーリングファンや一部空調を実装しており、施設内で働く方々やドライバーにも配慮した快適な空間を提供します。



東側外観



南東側外観



中央車路



倉庫スペース



メインエントランス



カフェテリア

サステナビリティへの取り組み

「LF 境古河」は、CASBEE（建築環境総合性能評価システム）A ランク認証、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）6 スター、ZEB を見据えた先進建築物を示す ZEB Ready（省エネ基準の50%以下までエネルギー消費量を削減した建物）認証を取得しており、また太陽光発電事業者による屋根への太陽光発電設備の設置、BCP 対策として災害時に備え受変電設備・非常用発電機を建物上部に設置するなど、事業用不動産における持続可能性を備えた施設となっています。

境町の橋本正裕町長は次のように述べています。

「境町では、圏央道境古河インターチェンジ開通に先駆け、平成26年より企業誘致活動に力を入れてきました。LF境古河の完成により、町では約300人の新規雇用増が見込まれています。また、災害時協定の締結に伴い、災害時には一時避難所として利用させていただくなど、近隣住民の安心・安全にも貢献する施設としても期待を寄せております。」

田中 義幸（クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド・アセットマネジメント株式会社 代表取締役）は次のように述べています。

「このたびは関係者の皆様のご協力により、LF境古河の竣工を無事迎えられたことを大変嬉しく思っています。LF境古河は積極的に企業誘致に取り組まれている境町に位置し、圏央道、新4号国道を利用しての関東及び東日本へのアクセスに優れていることから、多様な物流ニーズに応える北関東のフラッグシップになるものと期待しています。また、境町と協定を締結し、本物件を地域の皆様へ緊急退避施設として提供

する体制が構築できたことを大変光栄に思います。今後もCWAMは、地域と連携し、高機能な物件を供給することにより、地域経済の発展と産業振興に貢献してまいります。」

【施設概要】

施設名：LF 境古河

所在地：茨城県猿島郡境町下小橋 838-3

土地面積：50,183 m²

用途地域：工業専用地域

延床面積：113,291 m²

構造：地上 4 階建て、鉄骨造

着工：2023 年 7 月

竣工：2025 年 1 月

認証取得：CASBEE A ランク（新築）認証、BELS 6 スター、ZEB Ready 認証

設計・施工：JFE シビル株式会社

設計監修：株式会社フクダ・アンド・パートナーズ

監理監修：株式会社アクア

C&W の物流施設展開

「LF」シリーズはロジスティクス・ファシリティーを表現したC&Wが運用する物流施設ブランドです。C&Wの開発施設及び開発予定施設は以下のとおりです。詳細はこちらのサイトでご覧いただけます。

<https://lf-series.com/>

施設名	所在地	土地面積	延床面積	竣工
LF神戸弥栄台	兵庫県神戸市	約9,500m ²	約19,000m ²	2022年6月
LF奈良	奈良県生駒郡安堵町	約58,000m ²	約124,000m ²	2023年3月
LF奈良 ANNEX	奈良県生駒郡安堵町	約19,000m ²	約37,000m ²	2023年7月
LFつくば	茨城県つくば市	約30,000m ²	約71,000m ²	2023年7月
LF加須	埼玉県加須市	約27,000m ²	約27,000m ²	2024年5月
LF境古河	茨城県猿島郡境町	約50,000m ²	約113,000m ²	2025年1月
LF谷田部*	茨城県つくば市	約36,000m ²	約80,000m ²	2025年1月

*施設名は仮称です。示されている面積、年月は予定です。

-以上-

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドについて

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（C&W）は、ニューヨーク取引証券所に上場している世界有数の事業用不動産サービス会社です。世界約 60 カ国、400 拠点に約 52,000 人の従業員を擁しています。施設管理、売買仲介、鑑定評価、テナントレップ、リーシング、プロジェクト・マネジメントなどのコア・サービス全体で、2023 年の売上高は 95 億ドルを記録しました。受賞歴のある企業文化や、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DEI）、サステナビリティに対するコミットメントにより、業界内外から高い評価を頂いております。詳しくは、公式ホームページ <https://www.cushmanwakefield.com> にアクセスするか公式 X @CushWake をフォロー下さい。

本施設に関するお問い合わせ：

上木 教暉

マネージャー

資産運用部

キャピタル・マーケット

+81 3 6634 0014

noriaki.kamiki@cushwake.com

リーシングに関するお問い合わせ：

小野 晋

シニア・マネージャー

資産運用部

キャピタル・マーケット

+81 3 6625 8319

susumu.ono@cushwake.com

メディア・コンタクト：

大谷 彩子

マーケティング&コミュニケーションズ

+81 3 3596 7045

saiko.otani@cushwake.com